

平和への歩み確かなものに 原爆供養塔前と広島別院で法要

宗門内だけでなく、で庭儀が行われ、僧侶 追悼法要並びに原爆忌
より多くの人々と共に や門信徒400人が静 70周年法要」を
平和への歩みを確かなかに歩みを進めた。供 門主
ものにしていこうと、 養塔前にはご本尊が安 1800人が参拝した
安芸教区と広島別院は 置され、ご門主御導師 (写真)。

7月3日、広島市中区 により十二礼作法が つ 法要に先立ち、同区
・広島平和記念公園内 とめられ、ご門主がお 浄宝寺の諏訪了我往
の原爆供養塔前で、「平 言葉を述べられた(1 職(82)が記念布教。同
和を願う法要」を営ん 面に全文掲載)。同公 寺は爆心地近くの旧中
だ。 園を訪れていた人たち 島本町(現在の平和記
法要に先立ち、公園 も、周囲から静かに手 念公園内)にあったた
内の広島平和記念資料 翌日は、同区・広島 児童疎開中だった諏訪
館から原爆死没者慰霊 碑を通り原爆供養塔ま 別院で「全戦争死没者 住職は、両親と姉を亡



くし原爆ですべてを失 のない、御同朋の社会
った。原爆孤児となりの 実現に向けて歩ん
戦後を歩んできたその いくことを呼びかけら
思いと平和への強い願 された。

いを語った(8月10日 当時、陸軍船舶司令
号に掲載予定)。
法要後にはご門主が 属だった広島市佐伯区
ご親教(法話)を述べ の畑本勇美さん(86、
られ、非戦平和の願い 最広寺門徒)は「原爆
をもって、戦争や差別 で市内から逃げてきた

多くの負傷者の看護を
したが、その惨状が今
も目に焼き付いてい
る。無差別に、子ども
までも巻き込むのが戦
争。二度とあってはな
らない」、広島市西区
の車谷チサ子さん
(94、教専寺門徒)は
「私だけがこんなに長
生きさせていただき、
有り難いような申し訳
ないような…。法要に
お参りさせていただけ
き、平和への思いを新
たにした」と静かに語
っていた。